

アルベール大公生誕（三月十四日）祝賀

創作能 グレース・ケリー

宗片邦義作

人物

シテ・・・グレース・ケリー（モナコ公妃）の霊

ツレ・・・日本の能研究家

ワキ・・・グレース・ケリー劇場支配人

地謡（三・四名）

囃子（笛・小鼓・大鼓・太鼓）

「囃子ナシデ、ワキ登場」

ワキ「この劇場の支配人でございます。このグレース公妃劇場と申すは、舞台芸術をこよなく^詞

愛された公妃ご自身が、古い劇場を改裝命名されたのですが、ご自身は存分に公演なさることなく、劇場完成の翌一九八二年に、思いもよらぬ交通事故にて亡くなられ、わずか五十二年の生涯にて、誠に悲しく残念な事でございました。

亡くなられる二月前^{ふたつき}のインタビューでのお言葉「慎ましく、思いやりのある人間だったと、多くの人に記憶されたい」が忘れられません。

誠に誠実なるお人柄により、公妃がわがモナコのために果たされたるは政治経済外交、環境問題。さらに慈善活動や「モナコ赤十字」創設と、実に計り知れません。

それ以前はハリウッド女優として、その気品あふれる美しさは特にヒッチコック監督との数々の映画にて世界中のファンを魅了されました。そして一九五四年の映画『喝采^{かつさい}』にてアカデミー主演女優賞に輝かれ、その翌年カンヌ映画祭に招かれ、わが公国のレニエ・グリマルディ大公と運命の出会いをなされ、かくてモナコ公妃に迎えられたという次第に

ございました。

さて本日は。英国はシェイクスピアの名作悲劇『ハムレット』を、日本の能翻案にてお目にかけます。公妃ご自身一度日本を訪問されたことがあり、霊魂を尊ぶ日本の精神文化に深く感銘されたとのこと。

また公妃は舞台女優としての夢を、最後までお持ちのようでした。

それではこれより一時間余り。どうぞごゆっくりとご鑑賞くださいませ

「入ル

〔後見、小袖ヲ舞台正先ニ丁寧ニ広ゲル〕

〔囃子アリ、揚幕上リ、ハムレット現レル。〕

一ノ松辺リマデ進ミ」

次第

ヨワ時

ツレ「生くるか死ぬるかこの命。生くるか死ぬるかこの命。

しょうじ

生死の道に迷ふなり 「舞台ニ入り」

サシ

ツレ「死ぬるとは。まことすべての終りなるや。まことすべて

の終りなるや。眠りの如きものなれば。いかなる夢を見る

るやらん 地「ここに至りて。終に。実行の名を失なへり

上歌・カエテ

地

「デンマーク王子ハムレット。宰相ポローニアス殺害の廉

により。イングランドへ島流し。海賊船に飛び乗りて。帰

りてみれば恋人の。思ひもよらぬ野辺送り

のへおく

「ハムレット、小袖ノ前ニススミ、坐禪、シバシ黙想」

シットリ

あまでら

「君・尼寺へ行き給へとは。清らに生きよの謂ひなりしが。

みのも

淋しさに耐えかね水面にその身を投げたるや。許したまへ

オフィーリア

「シテ登場ノ囃子アリ。間モナク、シテ、橋掛リニ現レル。

ハムレット、ワキ座へ移ル。

後見、小袖ヲ下ゲル。

囃子シズマル。シテ、舞台、名乗座ニテ」

一セイ・ウツクシク・すみれ

シテ 「葦の花のオフィーリアに。代りて現るこれはこ

の劇場の主たりし ツレ」さても不思議のことやあ

る。グレース公妃の御霊なるや

サシ

シテ 「日本より靈魂の芸来たりたる。誘はれ出でたるこの

劇場。日本を訪ねしその年に。わが名を冠して新装
せり

地 「されどあくる年。われこの世の命を失ひし

ツレ 「いかに無念なりしことよ。かの美しき演技御披露叶

はざりし。またいかなれば。日本を訪ねられたるや

シテ 「日本は神戸。ポートピア八十一に招かれて

拍合オサエテ

地 「花を愛づる。日本とモナコ。友好の記念植樹は

げつけいじゆ

月桂樹。訪れたるは有馬温泉。京都は仁和寺。金閣

かつりき

寺。桂離宮。亡き人の靈魂尊び。月を愛でる日本人。

懐かしや

「イロエ（立廻り）」

シテ^{クリ 拍不合}「一方^{さんさん}こちらは燦燦と日の降り注ぐ地中海

地^{サシ}「コスモポリタンの。劇場そのもの。シャンパンの泡^{あわ}

のはじける如くにも。人の心を躍^{おど}らせる舞踏会。チャ

リテイの国

シテ「思ひ返せば懐かしや

地^{クセ・ヨワ}「思ひ返せば懐かしや。最愛の人レニエ大公。そも出

会ひの日。大公^{たいこういわ}曰く。庭園をご案内致したくと。また

近くお会でできれば幸ひと。その年のうちにアメリカ
訪問。求婚せらる

シテ「あなたを愛してしまひたり

地「あくる年。ご成婚。モナコ国民大歓迎。これ正^{まさ}に夢

物語か。されどその後は。超ご多忙の公務。山積。

C'est beaucoup. (沢山のことがあるわ)

ツレ^詞「アメリカでの生ひ立ちにつきても、聞かせ給へや

シテ「わが父ジョンは、オリンピック金メダリスト

地^{以下、サラリ語り風ニ}「ボートレース。スカルにて。母マーガレットは

水泳選手。兄妹四人。グレース一人運動好まず読書三昧。
おじのジョージ劇作家。ひとり励ませり

シテ「わが選びたる、好きな道。真つ直ぐに、努力努力努力
のみと

地「やがてニューヨークは演劇学校。そして映画に。名優
ゲーリー・クーパーの相手役。ヒチコック監督『ダイ
アルZを廻せ』に抜擢。さらに『裏窓』そして『喝采』。
アカデミー主演女優賞

シテ「翌年五月フランス政府より、カンヌ映画祭に招かれて
地「かくてレニエ大公との。出会ひ。ご結婚。されどモナ
コ。フランスとの条約に。跡継ぎなくば。モナコ公国
は。フランスに併合さるべしと。グレース責任重大。
やがて三人のお子に恵まる。長女カロリーヌ。そして

シテ「長男世継ぎ、アルベール

地「次いで次女ステファニー誕生。さればグレース自ら子
育て。モナコの花は。政治外交文化芸術。医療赤十字。

さらに家庭と。八面六臂の活動たり

シテ「世界第二の小国なれど

地「七百余年の歴史あり。世継ぎアルベール公成長され。
自らの戴冠式に述べたるは。我に長年の夢ありて。すべ

てにおいて。世界の規範たる国造り。その後フランス・
モナコ友好条約改まる。いかなる強国大国も弱小小国
国民の。幸せ奪ふ権利なし

ツレ「されば今宵は。願はくは。この世のすべての人々に。

その清楚・優美の舞。思ひの限り披露なされや

シテ「日の本の天人の舞とかや

「シテ、後見座ニテ「物着」。囃子アシライ。ヤガテ、

「舞」羽衣・和合之舞。

更ニ以下、清楚ニ舞イナガラ

シテ「目に見えぬ 地「靈魂尊ぶ精神の国 シテ「自然を愛づ

る 地「日本よ シテ「広島長崎の悲劇のり越え。固

き決意の平和の国よ 地「その美德とは。やさしさ。

礼儀。美。敬愛。失ふなかれ。その心もて。わが十年忌

にては。福岡は大宰府より。神主来たりて。モンテカル

ロに。正真正銘の日本庭園。追悼式。有難き

〔破之舞〕

大ノリ
地「花の都。芸術の国。モナコと日本。和の心。なごみ世界に広がれ。

なごみ和の心。世界に広がれ。地上に平和を。地上に平和を。この

願ひ。しづへんこの祈りに。神の祝福あれかし

【註】 作者は二〇一二年、グレース・ケリー公妃(1929—82)三〇年忌に、モナコの「グレース・ケリー劇場」で英語能『ハムレット』を公演する機会に恵まれた。この創作能『グレース・ケリー』は、その貴重な経験を生かすべく制作したものである。なお、公妃の誕生日は、十一月十二日（奇しくも作者も同じ）、命日は九月十四日である。また二〇一九年は公妃生誕百年。

Noh Play *Princess Grace Kelly of Monaco*

By Kuniyoshi MUNAKATA

Plot: A Japanese Noh actor is invited to perform *Noh Hamlet* at Princess Grace Theatre in Monaco.

While he as Hamlet sits and meditates in front of the grave of Ophelia, the ghost of Princess Grace appears and recollects her visit to Japan as well as her dear memories of Prince Rainier III. Then, she shows a graceful, celestial dance, praying for peace on earth. This composition was penned as a memorial for the 40th anniversary of the death of Princess Grace Kelly in 2022.